

科目名	子どもとことば						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	栗山 多恵子	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 選択				
授業概要							
子どもがことばの獲得をしていく成長段階に応じて、絵本をとおしてことばの重要性を考える。							
到達目標				成績評価方法			
長く読み継がれてきた絵本を読み合い知ることにより、学生自身の選書の力を養う。				全授業の中で紹介した絵本の中から1冊を選択する。そして、その理由を述べる。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		70
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) ことばの誕生以前の周囲の人たちとの関わりの重要性							
2) ことばの獲得							
3) 生活の中で獲得していくことばを紡ぎあわせていく環境作り							
4) ことばのもつ音のリズム							
5) 視覚をとおして発生してくることばの表現							
6) 絵とことばで原体験する絵本の世界							
7) 絵本の質について							

8) 人類の文化の象徴であることばの重要性	
9) ことばのよるこびを共有する絵本の世界	
10) 絵本を選ぶことの重要性	
11) 耳からきく昔ばなしの力	
12) 昔ばなしの絵本の質をみわける力	
13) 子どもにかかわる大人の選書 目を養う重要性と責任	
14) 核となる絵本の紹介とまとめ	
15) 学生による絵本の選書と読みきかせ実践	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
核となる絵本	保育内容（言葉）
備考	
絵本を読み聞きする際の内面的姿勢をみる。 私語は禁止する。	